01 ACTIVITY 足立の花火

足立一丁目ほか

- 河川に囲まれた新旧調和の景観ゾーン
- １９２４年開始
- 例年７月開催
- 足立６０景

応募者コメント

１「足立の花火」
色々な花火が見られて特別な風景だったから
２「足立の花火」
きれいだから

投票者コメント

・子供の頃から花火は毎年楽しみです。地元以外の方々も多く来ます。今年は残念ですが、来年に期待します。
・異世界が大好きだ。
・足立花火は感動しました！今年は残念でしたが。ぜひずっとつづけてほしい。家族などとの思い出にもなります。
・足立の花火最高

委員コメント

・足立区民の心の拠り所であり、足立の街の一部だと捉えている人が多いと思う。未来へつないでいく大切な足立区の風景である。
・今年は開催できなかったが、足立の夏の風物詩として定着している。
・建物や樹木などの物体ではなく、人の活動や一時的なイベントなどによる、景観要素の代表例として評価した。

02 ACTIVITY 光の祭典

保木間二丁目１７－１

- 身近な水と緑の景観ゾーン
- ２００２年開始
- 例年１１月下旬・１２月上旬から開催

応募者コメント

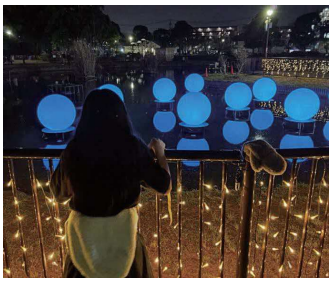
１「光の祭典」
小さな子供を連れた家族、中高校生のカップルが沢山いて、にぎやかな雰囲気です。数十分間に一度、メタセコイアのイルミネーションが音楽に合わせて光ります。
２「光の道」
元渕江公園で行われた「光の祭典」のイルミネーション風景です。とてもきれいで癒されました。元渕江公園はよく整備されていて、見どころ満載の生物園や光の祭典もあって初めて来ましたが1日楽しめました！

投票者コメント

・光でいっぱい道をてらしてきれいだから。
・行ってみたいと思ったから。

委員コメント

・小さいころに親と足を運んだ子供達が大人になり、自分の子供を連れてくるような歴史的な継続性がある。
・竹の塚駅から元渕江公園に続く並木のイルミネーションもまちに彩りを添えている。
・足立の夏の「花火」と同様に、冬の「光の祭典」として、区民に愛されている。



03 ACTIVITY

小中学校の里帰り桜

足立区立小中学校各地

- 区内　小学校６７校　中学校３５校
- 例年４月上旬に入学式

応募者コメント

１「里帰り桜咲く春の足立区立小学校」

足立区内の全ての小中学校には、１９８２年度にワシントンからの里帰り桜の苗が植樹された。今、各学校にて大きく育っており、この桜に迎えられて入学、あるいは見送られて卒業する足立区育ちの児童生徒の数は多い。これからも、守り伝えていきたい足立区らしい春の風景である。

投票者コメント

・小学校の桜には思い出がたくさんつまっています。いつまでも残してほしい風景です。

委員コメント

・区内の全域にある全ての小中学校に由緒を同じくする桜があるということは、まちなみとしての景観への影響はもちろん、足立区民の原風景としても重要であると考える。桜は生育状況によっては今後更新の時期を迎えるが、風景資産とすることで今後の全区的な対応を検討するきっかけになってほしい。

・統廃合などがあっても各学校の桜を残して、景観に活かすなど取り組んでいけると良い。